阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画

く 宝塚市における主要な取組み>

■河川下水道対策

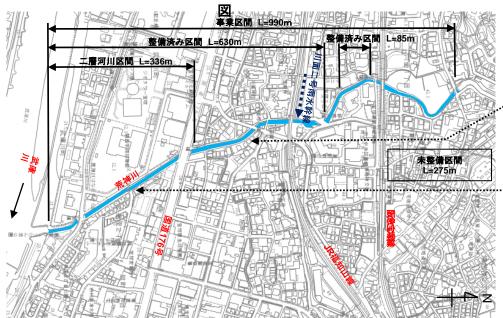


(1)河床掘削、護岸整備

継続事業

- 〇宝塚市の中心部を流れる武庫川水系荒神川において、河川法第16条の3に基づき、本市が周辺地域の浸水被害の軽減を図るため、護岸の改修や河床の掘り下げを行い流下能力を向上させる工事を実施しています。
- 〇武庫川合流部から国道176号までの二層河川区間は、市民が水辺と親しめる河川空間として整備しています。
- 〇河川改修に合わせて雨水幹線の整備や接続ができ、浸水被害の軽減効果に大きく寄与しています。
- 〇令和6年度以降も引き続き、河川管理者である県と協議、調整をしながら、未整備区間の整備に向けて取り組みます。

荒神川位置







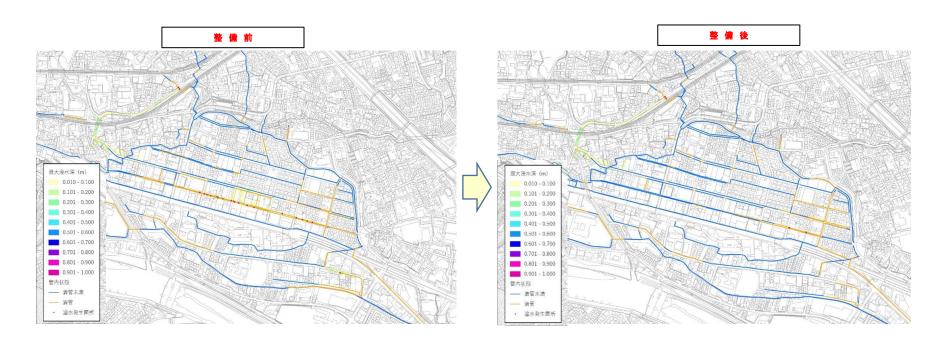
※地下に下層河川BOX (H2.2m×L4.4m) を設置しています。

■河川下水道対策



(1)浸水常襲区域の整備

- 〇宝塚市の公共下水道整備では、6年確率、降雨強度46.8mm/h対応の整備を進めています。
- 〇低地帯であり、浸水常襲地区となっている区域周辺の雨水排水施設構造物の見直しを図り、実績降雨に耐え うる整備を計画しています。
- 〇この整備は令和3年度から進められており、氾濫解析業務結果に基づき令和4年度で詳細設計にとりかかり 令和6年度以降で対策工事を予定しています。



■雨水貯留施設設置助成金制度



1. 制度の目的

● 雨水の流出抑制及び有効活用を図り、良好な水循環型社会の創出と意識の高揚を図ること。

2. 助成金額

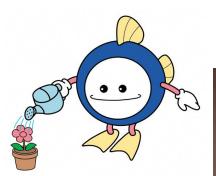
● 材料費及び施工費の合計の2分の1で、上限は30,000円

3. 設置助成条件

- 宝塚市内の戸建か集合住宅に居住であること
- 容量が100リットル以上であること
- 1棟につき1基限り(集合住宅は2基まで)
- 新規設置であること "etc



- 設置数:411件
- 貯留量:77,544L
 - ※平成16年度から令和5年度の実績です。









■浸水による被害の軽減に関する学習



そなえる

(1)被害の軽減に関する学習

〇地域防災力向上のため、ぼうさい出前講座の実施、地域の防災訓練への支援、地区防災計画や避難所運営マニュアルの策定支援などの取り組みを行っています。地区防災計画は令和5年度末現在、20まちづくり協議会のうち、9のまちづくり協議会で策定済みです。

ぼうさい出前講座



防災訓練



地区防災計画策定



阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画

く 三田市における主要な取組み>

■防災調整池の設置



(1)重要調整池

〇総合治水条例にもとづき、土地区画整理事業(三田市福島地区、組合施工)にて2カ所の調整池を整備。

- 1 号調整池は、横越流方式によるプール式調整池であり、洪水調整容量は1,985㎡。 街区公園の底地を利用した地下式の調整池。
- ▶2号調整池は、横越流方式による堀込式調整池であり、洪水調整容量は733㎡。

【調整池の状況】





2号調整池



1号調整池 / 街区公園









■ため池での雨水貯留の取り組み



(1) ため池改修に合わせた事前放流設備の整備

〇ため池改修に合わせ、管理者が簡単に操作できる事前放流孔を設置します。

- 〇ため池管理者が事前に開放し水位を下げることで、一時的に雨水を貯める事ができるものです。
- ●遠谷中池(三田市大川瀬地区):農村地域防災減災事業(県営ため池改修), 令和3年度完了
- ●新池(三田市加茂地区):農村地域防災減災事業(ため池改修), 令和4年度完了

〈放流孔拡大〉





新池 (三田市加茂)

遠谷中池 (三田市大川瀬)



(1)訓練・研修の実施

○訓練や研修を通じて、浸水による被害の軽減に関する学習の機会拡大に取組む。

1 令和5年度三田市総合防災訓練

訓練日時 : 令和5年11月11日(土)

訓練会場 : 三田市立志手原小学校

参加人数 : 約400名





2 土のう作成・設置訓練

実施日:令和5年5月28日(日)

参加者:地域自主防災会(2地区)、消防団、消防職員、市職員 計45名

3 災害対策本部事務局設置・運営訓練

実施日:令和5年6月29日(木)

参加人数:66名





4 避難所運営ゲーム(HUG)研修

1回目 実施日:令和5年6月22日(木) 2回目 実施日:令和6年3月7日(木)

参加者:避難所を担当する職員延べ約50名

5 福祉避難所の開設・運営に関する意見交換会

実施日 : 令和5年11月28日(火)

実施場所:三田市内にある特別支援学校中等部・高等部(福祉避難所)







(2) 地域との連携強化

○地域との連携を強化する事で、浸水による被害の軽減を目指しています。

1 地域版防災マップ作成事業の実施

令和5年度は3地区で実施。 参加者は各区自治会住民やさんだ防災リーダーの会。 内容は、防災まち歩きを行い地域独自の防災マップ作成。(現在データ化作業中)







2 三田防災リーダーとの連携

連携内容:① 地域版防災マップ作成における指導

② 市指定避難所防災倉庫の点検

③ その他区・自治会による防災活動への支援



■河川下水道対策



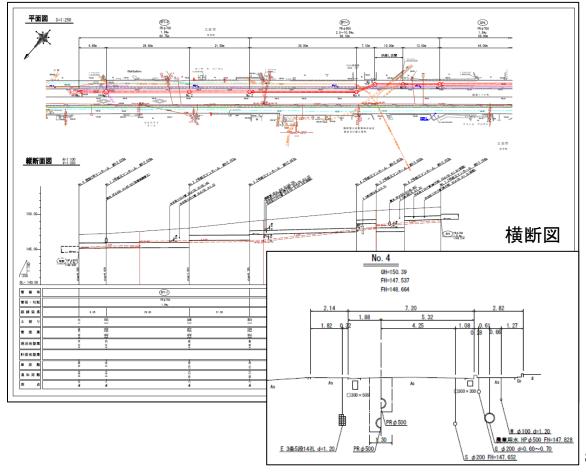
(1) 雨水管整備

- 〇市の南西部に位置する横山排水区において、防災・安全交付金(重点計画)により、雨水管を国道176号内に整備し雨水流下能力を向上させることで浸水被害を防ぎます。
- ●整備延長は約330mで、令和6年度に工事を実施します。

位置図



平面縦断図



阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画

く 丹波篠山市における主要な取組み>

(1) なぜ福祉が防災の取組をするのか?

安全に避難するために大切なこと (元気な人も、避難行動要支援者※も)

- ①平時からの地域の人とのおつきあい
- ②その人に合った避難支援方法を地域の人が知っている
- ③避難訓練での実践
- ※「避難行動要支援者」=自力での避難が難しい人

福祉部門

避難行動要支援者の平時の暮らしの様子や見守りの情報があり、関係機関と連携をとりやすい(ケアマネジャー、民生委員等)

→個別避難計画「見守り台帳」 を地域で活用



防災部門

避難訓練の実施を地域に勧めている

- →地域での避難訓練
- ➡「見守り台帳」を活用



防災と福祉の連携が必要



(2) 災害時の「見守り台帳」への登録・活用(H25~)

内容

災害時に一人では避難が困難な方の避難支援がスムーズに行われるよ う、支援が必要な理由や希望する支援方法、本人が依頼した避難支援 者などを記した個別の避難計画

- 登録の目的 ① 災害時の避難支援
 - ② 日頃からの見守り支援(地域のつながり)

登録の対象者は、 「自力で避難が困難な人」だよ 民生委員さんが訪問活 動する時に登録を勧め てくれると助かるな

近所の人とつなが る機会に!

例えば

要介護3~5.

身体障害者手帳1,2級、

療育手帳A判定、

精神障害者保健福祉手帳1級

の方には登録を勧める通知を 送るよ!

> どんな支援が必要で、 誰がその支援をする かも登録しておくよ



丹波篠山市マスコット「まるいの」

見守り台帳は、本人、 自治会長、民生委員に 渡すよ

自治会での避難訓練 に活用してほしい な!

(3) 災害時ケアプラン作成事業(R4~)

特に個別支援が必要な方の避難方法を、**福祉専門職が協力して、本人・家族や地域の皆さんと一緒に検討し**、個別避難計画(=災害時ケアプラン)を作成して**実際に練習してみる事業です**。

ケアマネジャーの助言を受けて考えた方法で、ご近所さんと避難の練習



その人に合った安全な避難 支援方法を<mark>実践</mark>できまし た!





近所の方も久しぶりに本人に会われ、交流が再開!

この事業は、福祉が目指す地域の 人とのつながりの再構築も目的 としています

- (4) 誰ひとり取り残さない避難訓練事業(R4~)
 - ●自治会単位で「**見守り台帳」を活用して、1**人で避難できる人も避難行動要支援 者も、**地域の皆さんと本人・家族で避難方法を確認し合う避難訓練**事業です。
 - ●ご近所に声を掛けながら、全員の避難を目指します。

【自治会の方へ福祉理解研修】

この事業の目 的を伝え防災 に対する意識 を高めます

個別の支援の 方法をレク チャーし体験

【避難訓練】



ご近所に声を掛 けて避難してきま した。見守り台帳

も活用しました!

誰ひとり取り残さない・誰ひとり取り残されないためには、 平常時からのお付き合いが大切。

"頼むわな"・"よっしゃ"と言える地域が、災害や防犯などに強い地域と言えます。

防災と福祉が連携して、

人と人をつなぐ、地域づくり

を進めます

阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画

く兵庫県における主要な取組み>

■河川下水道対策



(1)河川対策

- 〇兵庫県では、河川整備計画や下水道計画に基づき「ながす」対策として、河道拡幅・雨水管整備等の「河川 下水道対策」を実施しています。
- ○河川対策の具体的な内容として、ダムの設置、河道拡幅、堤防の設置、河床掘削、ダムからの事前放流、河川内の樹木撤去、堤防補強等があります。それらの対策については、環境保全や歴史文化への配慮、景観との調和に留意しながら進めています。
- 〇武庫川では、平成23年に策定された「武庫川水系河川整備計画」に基づき、河川対策に取り組んでいます。

①. 河道拡幅









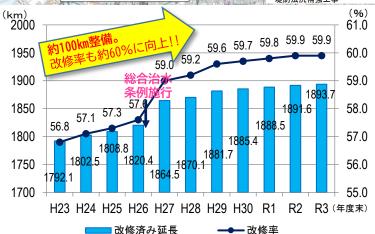
施工後

④. 堤防強化(侵食対策)









■森林の整備及び保全



(1)災害に強い森づくり

- 〇保全の行き届いた森林は土砂流出の抑制や斜面崩壊防止に対して有効に機能するとともに、水源涵養機能、 水質浄化機能や保水機能も有し、治水・利水・環境の面において重要な役割を果たします。
- 〇兵庫県では、県民総参加で取り組む仕組みとして平成18年度から「<mark>県民緑税」を導入し、「災害に強い森づくり」や「防災・環境改善のための都市の緑化」事業を推進しています。</mark>
- 〇令和3年度からは第4期計画(R7まで)がスタートし、以下の事業を推進しています。

①. 緊急防災林事業



- ・間伐木を利用した土留工
- ・シカによる食害に強い樹種の植栽
- ・災害緩衝林の造成
- ・簡易流木止め施設の設置 等

④. 野生動物共生林整備



- ·バッファーゾーン(見通しの良い地帯)の整備
- ・野生動物の生息地となる広葉樹林の整備等
- ・シカ食害地の広葉樹林再生等

②. 里山防災林整備



- 人家裏山で倒木や崩壊の危険性が高い里山林の整備
- •森林整備(本数調整伐、除伐、危険木除去、植栽)
- •簡易防災施設の設置(土留工、柵工、水路工)
- •管理歩道の開設、防災活動支援(防災マップ作成等)

⑤. 住民参画型森林整備



- •地域住民の自発的な森林整備活動への支援
- 森林整備、歩道、簡易防災施設設置に必要な 資機材購入費の支援
- •枯損木や大径木等の伐採に係る委託費

③. 針葉樹林と広葉樹林の混交整備



- •広葉樹の植栽
- •作業道の整備
- ・シカ防護柵の設置等

⑥. 都市山防災林整備



六甲山系の森林整備

- •広葉樹の本数調整伐等
- •伐倒木を利用した土留工
- ・倒木の危険性が高い大径木の伐採

■浸水による被害の軽減に関する学習



(1) 兵庫県CGハザードマップのリニューアル

- 〇兵庫県CGハザードマップは、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域などを示す「ハザードマップ」、 水位など災害時の「リアルタイム情報」、過去の災害情報など「防災学習情報」を1つに集約した、平常 時・災害時に利用できる防災ポータルサイトです。
- 〇しかし、「掲載情報が多く閲覧しづらい」、「地域の災害情報が検索しにくい」等の意見がありました。
- 〇そこで、CGハザードマップの①レイアウトを刷新、②国のハザードマップを組込み、③検索システムの改良など、システム改善に取り組み、令和5年10月にリニューアルしました。

